

一字が万事



私事ですが、家から西原りとするぱんぷきんずまで、通勤時間が片道90分あります。「片道90分って大変ですね!」とよく言われますが、私の中では許容範囲です!! 通勤時間を使い、景色を楽しんだり、人間観察をしたり、スマートフォンをいじったりと思い思いのことをしながらゆったり過ごしています。

その中の過ごし方の一つに『読書』もあります。

幼少期は漫画を読むことが大好きで、『ドラゴンボール』『幽遊白書』『はじめの一步』など、たくさんの傑作を読んでいました(世代がバレそうですが・・・笑)

高校生になると、親の影響で小説を読み始め、そこからビジネス本や自己啓発本など活字を読む機会も増えました。最近はおっぱら活字がメインで読み漁っています!

さて私の読んだ、とある本の中で、『一字の重みを知る』というセンテンスがありました。

日本語の一字は劇薬であり、ひとつ使い方を間違えると大変なことになります。例えば...

「あなたがいい」⇒「あなたでいい」...もしプロポーズなら取り返しがつきませんね(笑)
「今日もありがとうございます」⇒「今日ばかりありがとうございます」...あれ?いつもは?
「やってみます」⇒「やってみます」...自信がない?歯切れの悪い印象。
「いいですよ」⇒「いいですけど」...イヤイヤ感が伝わってきます。

どうでしょうか?たかが一字、されど一字。まさに『一字が万事』なのです。

皆さんは自分が発した言葉で「この一言は本当に上手く相手にヒットしたのでは?」と思ったり、

逆に「あんな言い方しなければよかった...」という経験はありませんか?

一言が相手を励ましたり、喜ばせたり、怒らせたりしますし、発している自分の耳や心にも残ります。

それだけ『言葉』には大きな力があります。

元々日本には【言霊(コトダマ)】と言い、発した言葉通りに物事が動く、という説があります。

そう考えると、言葉は丁寧に大事に発する必要がありますね。

私達は『保育士』という仕事なので、子どもはもちろん多くの方々と接する機会があるため、言葉選びのプロになる必要があると感じています。

子ども達にどのような言い方をしたら、よりわかりやすいか...

保護者の方、地域の方にどのような言葉を使ったら、より安心していただけるか...

職員にどのように伝えたら、よりスムーズな報連相を行えるか...

今一度、言葉の大切さを認識し、使い方や選び方を心に留めて実践していきます。

(中野)

